

SHINWA EXPRESS

*Application*2017
August

VOL. 114

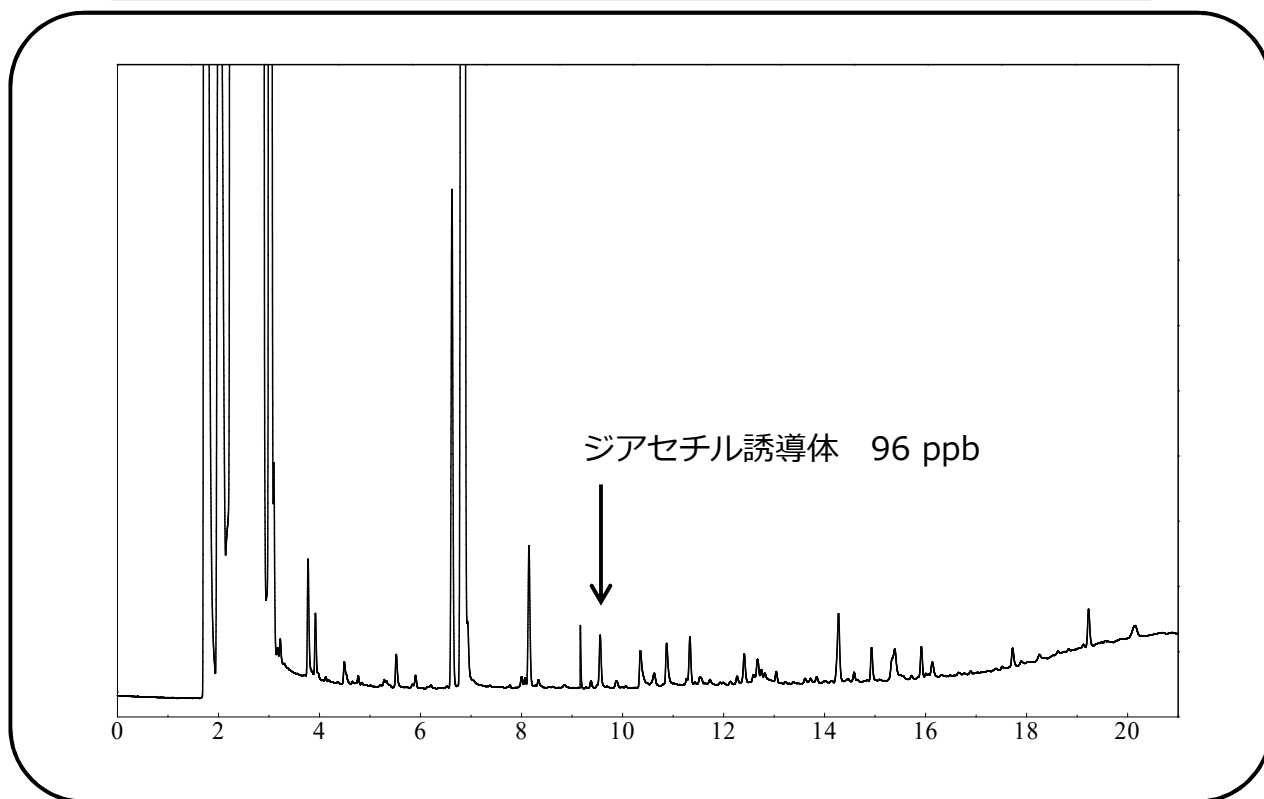
Shinwa DS-DA (Diacetyl) を用いた果汁中のジアセチルの分析例

ジアセチルは、使い古した油や米飯の腐敗臭を想起させる臭気を持ち、食品の品質劣化の指標として認識されています。また酒類では、醸造過程で生じるつわり香、火落ち香と呼ばれる悪臭成分として知られています。

今回は、ジアセチル誘導体化試薬キットShinwa DS-DA (Diacetyl)で、トマトジュースに含まれるジアセチルの定量を行いましたのでご紹介致します。

※Shinwa DS-DA (Diacetyl)は、ガスクロマトグラフィーで、酒類や飲料水中のジアセチル濃度を測定するために誘導体化を効率的に行うキットです。

ガスクロマトグラフィー（検出器：FID）によるトマトジュースの分析



試料：トマトジュース（無塩・濃縮還元）

→ 6000 rpm x 120 sec. 遠心分離して固形物を沈降させた後、上清10 mLをShinwa DS-DA (Diacetyl)で誘導体化処理

Column: ULBON HR-52 25 m x 0.25 mm I.D. df = 0.25 μ m

Column temp.: 100°C (2 min hold) ~ 270°C Program rate 10°C/min

Injection port temp.: 200°C (Split ratio: 5 : 1)

Detector: FID 280°C

Carrier gas 30 cm/sec. He

Sample volume: 2.0 μ L

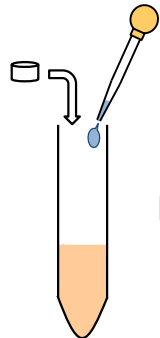


信和化工株式会社

〒612-8307 京都市伏見区景勝町50番地2
TEL: 075-621-2360 FAX: 075-602-2660
E-mail: info@shinwa-cpc.co.jp
URL: <http://shinwa-cpc.co.jp/>

Shinwa DS-DA (Diacetyl) 処理方法

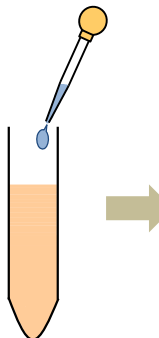
試料 10 mL
Reagent A 100 μ L
Reagent B 1 錠



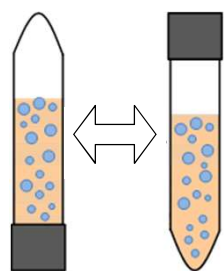
錠剤が溶けるまで
約 1 分間静置



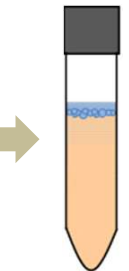
Reagent C 8 mL
Reagent D 1 mL

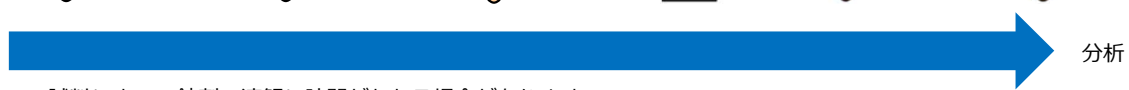


転倒・混釈
2 分間



上層を GC 分析





- ・ 試料によって錠剤の溶解に時間がかかる場合があります。
- ・ 錠剤は完全に溶解しない場合があります。

推奨試薬量

- ・ Reagent A (内部標準液) 100 μ L
- ・ Reagent B (反応試薬) 1 tab
- ・ Reagent C (洗浄液) 8 mL
- ・ Reagent D (抽出液) 1 mL

上記条件で、10 mLの試料を処理できます。

Shinwa DS-DA (Diacetyl) キット内容

キット内容	内容量	数量	法規制
Reagent A (内部標準液)	6 mL	1	危険物第4類 アルコール類 危険等級Ⅱ 水溶性液体
Reagent B (反応試薬) 冷蔵品	50 tabs	1	非該当
Reagent C (洗浄液)	450 mL	1	非該当
Reagent D (抽出液)	60 mL	1	危険物第4類 第一石油類 危険等級Ⅱ 非水溶性液体

ご用意して頂く器具類

- ・ 密栓付容器 (例: 密栓付ガラス試験管 20 mL)
- ・ ピペット類
- ・ GC分析用バイアル瓶

価 格

製品名	標準価格 (税別)
Shinwa DS-DA (Diacetyl) 50回分	25,000円



仕様は予告なしに変更をさせていただくことがございます。予めご了承ください。